#### Interview

## 表紙を飾ったあの人は今!

159号(平成30年6月号)で表紙を飾った藤井亜沙美 さん。藤井さんは、市内での産科再開後、初めての赤ち



159号の表紙を飾った 藤井亜沙美さんと 娘の芒欌ちゃん

取材を受けた当時は、出産の前から 自分の子どもが市内第1号になりそう だと聞いていました。再開後、初の出 産だったので、産科のスタッフの皆さ んも慣れないことが多かっただろうと 思いますが、試行錯誤しながら一緒に 頑張ってくれて、うれしかったのを覚 えています。

広報紙に掲載してもらったことは、 何年後かに「こんなに小さかったんだ よ。 庄原で1番目の赤ちゃんだったん だよ」と話ができるので、今後の楽し みにもなっています。思い出が広報紙 として形に残るということが、とても うれしいです。

広報紙は、今も毎月読んでいます。

特に「庄原が好き」の記事は、市内に こんな人がいるのか!ということが知 れて面白く、いつも楽しみです。今後 も、地域の人や話題を紹介する記事が 増えるとうれしいしいな、と思います。



七楓ちゃん、亜沙美さん

### Interview

## 「広報しょうばら」 思い出の一冊

心に残っている一冊について聞きました。

### 平成 17 年4月号~平成 18 年4月号担当 中廣 勝文

#### 9号(平成17年12月号)

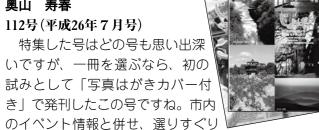
庄原赤十字病院の産科休止をきっ かけに、「庄原の子育て」について 特集しました。不安を抱えながらも 子育てに取り組む保護者の笑顔や、



それを支える地域の皆さんの温かさに触れ、「庄原の 子育て」の力を感じました。あれから16年。休止し ていた産科も再開され、多くの人の願いや取り組みが 実を結んだことに、改めて感動しています。

#### 平成 22 年5月号~平成 28 年4月号担当 製山 寿春

いですが、一冊を選ぶなら、初の 試みとして「写真はがきカバー付 き」で発刊したこの号ですね。市内



のスポットを写真はがきにしました。当時、読者の皆 さんからの反響が大きく、返信いただいた広報紙への 思いや感謝のコメントに、感激したのを覚えています。

## 平成 18 年5月号~平成 22 年4月号担当 ※原 秀晴

 $\Rightarrow$ 

奥山

#### 53号(平成21年8月号)

この号の特集「守りたい!地域医 療」では、小児医療の危機的な課題 をテーマに、「地域医療を考える会 の発足や、「小児科の先生を守って



いきたい」と活動する母親を追いました。その際、「今 後、小児科の先生が希望して庄原市に来ていただける ような環境がつくれれば最高」と話されていたことが 数年後に実現し、とても感激しました。

# 平成 28 年 5 月号~令和 2 年 4 月号担当

#### 140号(平成28年11月号)

本号には、庄原市出身のオリンピ ック金メダリスト・金藤理絵さんの 祝賀パレードや、市民栄誉賞授与式 などの様子を掲載しています。取材



では、担当となり十分な経験がない中、一生に一度あ るかないかという場面に大変緊張し、たくさん汗をか きました。当日は秋晴れで、集まられた多くの人の笑 顔が印象に残っています。

# 特

# 創刊200号

毎月、皆さんのご家庭にお届けしている市の情報紙「広報しょうばら」。庄原市、西城町、 東城町、口和町、高野町、比和町、総領町の旧1市6町が合併した平成17年に創刊し、今 月で200号を迎えました。

今回は、これまで発行した広報紙を振り返ります。

# 「広報しょうばら」ピックアップ!





舎が新しく建てられ、4月から オープンしたことをお知らせ。



救助の様子を掲載。



けた。表紙はヘリコプターでの新聞記者へ広報の役割について インタビュー。







リオ五輪競泳女子 200m 平泳 開し、再開後初めての赤ちゃん 護制度(GI)に登録。 から現在のタイトルロゴへ変更。民からのお祝いの声を掲載。の出産について話を伺った。



ぎで金メダルを獲得。家族や市 が誕生したことを紹介。市内で わたり、これまでの取り組みと

3 2021.11 /広報しょうばら